

令和 3 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人檜葉町社会福祉協議会

令和3年度 事業報告書

1. 事務局

(1) 法人運営

理事会・評議員会等を下記のとおり開催し、適切な法人運営に努めました。

会議名	開催日	主な議題
理事会	令和3年 5月12日	令和3年度事業報告、決算他
	令和3年 5月27日	会長及び副会長の選定
	令和3年12月 1日	定款・就業規則・給与規程の一部改正、補正予算他
	令和4年 3月 3日	定款・経理規程・費用弁償規程の一部改正、補正予算、令和4年度事業計画、予算他
評議員会	令和3年 5月27日	令和3年度事業報告、決算、役員を選任
	令和3年12月21日	定款の一部改正、補正予算
	令和4年 3月17日	定款・費用弁償規程の一部改正、補正予算、令和4年度事業計画、予算他
監事会	令和3年 5月 7日	令和2年度事業・会計監査
評議員選任・解任委員会	令和3年 5月19日	評議員の選任

(2) 自主財源の確保

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、社協会費や日本赤十字社の社費、共同募金の戸別徴収は実施しませんでした。令和4年度は、徴収方法の検討を行い、コロナ禍でも可能な方法で実施します。

(3) 職員研修の実施

今年度は、毎月1回の職員研修を実施しました。また、外部研修については、オンライン形式の研修を中心に受講し、職員の資質向上に努めました。

(4) 人事・労務・会計管理

今年度の人事管理については、正規職員2名、嘱託職員4名、非常勤職員4名の採用を行い、不足している事業所への配置を行いました。来年度以降も継続して採用活動を行い、人員不足の解消を目指します。

労務管理については、働き方改革関連法等の趣旨に従い、有給休暇の取得の奨励を行い、就業環境の適正化に努めました。

会計管理については、入出金と預金残高の管理、毎月実施する月次処理等を適正に行い、法人の経営状況の改善に努めました。

(5) 福祉関係団体の運営支援

① 檜葉町民生児童委員協議会

檜葉町民生児童委員協議会の事務局として、会計管理や事業報告の作成、毎月1回開催される定例会の資料作成及び講師の派遣調整、福島県民生児童委員協議会等の関係機関との連絡調整、各委員への通知や資料等の発送、災害発生時の委員の安否確認等を行いました。

②檜葉町老人クラブ連合会

檜葉町老人クラブ連合会の事務局として、会計管理や事業計画・報告等の作成、総会や各種会議の開催、勉強会や研修会の企画、開催等を行い、活動している単位クラブの支援を行いました。

③檜葉町遺族会

檜葉町遺族会の事務局として、会費の徴収や役員会・総会の開催準備及び資料作成、戦没者慰霊祭の開催準備、竜田神社・木戸八幡神社で行われる招魂祭の開催準備、遺族会だよりの発行、福島県遺族会等の関係機関との連絡調整等を行いました。

(6) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営については、通常通りのボランティアの募集・広報周知活動、活動に関するコーディネート、ボランティア保険への加入手続き等を行いました。また、震災以降休止していた「サマーショートボランティアスクール」を開催し、小中学生のボランティア意識の醸成に努めました。今年度実施できなかったボランティア養成講座等については、新型コロナウイルス感染症が終息した段階で実施する予定です。

【令和3年度実績】 ボランティア登録者数 59名 活動者数 延 155名
サマーショートボランティアスクール参加者 9名

(7) 在宅福祉サービス事業の実施

在宅福祉サービスについては例年通り実施しましたが、サービス内容の拡充等に関する検討会は実施されなかったため、来年度以降の課題となっております。

【令和3年度実績】 登録者数 139名
配食サービス 延 1,602食 車椅子同乗軽自動車貸出サービス 延 52件
家族介護用品支援サービス 延 7名 外出支援サービス 延 26件

(8) 低所得者等への支援

①生活援助資金貸付事業

町内に居住する低所得世帯に対して生活費の貸付を行う事業で、今年度の貸付はなかったが、相談対応や滞納者への督促状の発送等を行いました。

【令和3年度実績】 相談対応件数 10件 償還 6件(80,000円)

②生活福祉資金貸付事業(福島県社会福祉協議会からの委託事業)

檜葉町に住民票を有する低所得者に対して生活費や就学資金等を貸付する事業で、通常の貸付に関しては相談対応だけで貸付まで至るケースはなかったが、新型コロナウイルスによる収入減少に係る特例貸付については、相談対応、申請代行等を行いました。

【令和3年度実績】 相談対応件数 149件 償還(通常貸付) 403,940円
緊急小口資金(特例貸付) 貸付 34件 6,800,000円
総合支援資金(特例貸付) 貸付 30件 15,200,000円

避難指示解除以降、町内に居住する困窮世帯は増加傾向にあり、来年度以降もさらに増加することが予想されるため、上記貸付事業の相談に加え、生活困窮者自立支援機関等との連絡調整に努め、住宅確保給付金や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の相談等にも応じ、生活困窮者の自立支援に努めていきます。

(9) 権利擁護事業の充実・強化

①日常生活自立支援事業

判断能力が低下している高齢者や障がい者等の日常的な金銭管理、福祉サービス等の利用援助、通帳等の預かりを行い、権利侵害の防止に努めました。

【令和3年度実績】

ア. 認知症高齢者等	利用者2名	援助回数	延 8回
イ. 知的障がい者等	利用者1名	援助回数	延 29回
ウ. 精神障がい者等	利用者1名	援助回数	延 51回
エ. 契約待機者	3名		

②法人後見事業

今年度は、法人後見事業の準備段階として、先進地視察（福島市社協）や実施要綱等の整備、運営委員の選任作業等を行いました。令和4年度からの事業実施を予定しており、成年後見人等のなり手がいない方々の支援に努めます。

(10) 広報・情報提供体制の充実・強化

今年度の広報活動については、広報誌の発行は例年通り行い、紙面の充実にも努めました。ホームページの頻回な更新作業は行えず、掲載内容の充実も図れませんでした。来年度以降は、ホームページによる情報発信の強化に努めてまいります。

(11) 指定管理業務

今年度も、檜葉町保健福祉会館の指定管理業務を受託し、施設の適切な保守管理、運営に努めました。

【令和3年度実績】

		延利用回数	延利用者数
1階	大会議室	188回	2,998名
2階	大集会室	174回	252名
	小集会室	8回	49名
	遊戯室	81回	961名
3階	機能回復訓練室	237回	4,241名
	老人室	129回	1,152名
	合計	817回	9,653名

※2階小集会室は、6月から一般社団法人8色（基幹相談支援センター）が賃借。

(12) 日本赤十字社事業の推進

日本赤十字社事業については、社費の戸別徴収は行わず、振込用紙の郵送に代えて行いました。お寄せいただいたご遺志金については、告別式への参列時に感謝状の贈呈を行いました。また、災害発生時には、義援金等の募集も行いました。

【令和3年度実績】

社費	14件	87,000円
ご遺志金	70件	1,530,000円
義援金等	3災害	392,531円

(13) 共同募金会事業の推進

共同募金事業については、募金の戸別徴収は行わず、職域募金や町内各所に募金箱を

設置して募金活動を行い、災害発生時には、災害義援金の募集も行いました。

【令和3年度実績】	赤い羽根共同募金	185,850円
	歳末たすけあい募金	8,255円
	災害義援金	246,205円

(14) 福祉車輛・福祉用具貸出事業の実施

福祉車輛・福祉用具貸出事業については、福祉施設に入所中の方の通院や自宅から施設への入所、急性期のレンタル物品が届くまでのつなぎ等として利用され、介護者の負担軽減等に役立っていることから、今後も定期的なメンテナンスを行った上で対応していきます。

【令和3年度実績】	福祉車輛貸出	5回	福祉用具貸出	9回
-----------	--------	----	--------	----

(15) 生活支援体制整備事業の実施

生活支援体制整備事業については、生活支援コーディネーターを配置し、地域ミニデイの運営支援や地域活動への参加を通じた地域課題の抽出を行い、地域共生ケア会議等で課題の検討等を行いました。また、地域課題から抽出された障がい者の就労支援にも取り組み、農業事業者への訪問調査、就労体験等を行いました。

【令和3年度実績】	地域ミニデイへの参加	延 100回
	農福連携による訪問活動	延 18回

2. 地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの構築・深化に向けて各種事業を行い、地域共生社会の実現に向けた活動を行いました。

【令和3年度実績】

(1) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

介護予防プランの作成及び評価 延 1,294件

(2) 総合相談支援業務

相談件数 延 3,455件 相談延人数 2,620名

(3) 権利擁護業務

成年後見制度等の相談対応 延 13件 措置入所支援 1件

虐待コアメンバー会議参加 延 5回

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント

町の課題解決に向けたワーキンググループの開催

「障がいを抱える方の就労支援に向けて」 延 2回

「介護予防、健康づくりの充実・推進」 延 2回

学習会等の開催 延 4回

介護支援専門員等の後方支援 延 170件

(5) 地域包括ケアシステム深化推進業務

地域共生ケア会議の開催 延 26回

地域ミニデイへの参加 延 38回

地域包括ケアシステム構築推進シンポジウムの共催 1回

農福連携に向けた町内事業所の訪問 延 17回
 サマーショートボランティアスクールへの協力 延2回
 情報誌の発行による広報活動 延 12回

(6) 来年度の活動

今年度に行った活動に加え、認知症サポーター養成講座の開催やサポーターの活動支援、重層的支援体制整備事業の実施に向けた「断らない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を意識した取り組み等を行っていきます。

3. 居宅介護支援事業所

今年度も、要介護状態となっても住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう、本人や家族の意向に寄り添いながら、適切なケアプラン作成に努めました。令和3年7月に職員を1名採用したことにより、町内に居住する要介護者のケアプラン作成を町外の事業者をお願いすることがなくなりました。町内の社会資源が限られているため、支援方法の検討やケアプランの内容等で苦慮することがありましたが、来年度以降もその人らしさと自立支援を念頭に置いた相談活動に努めます。

【令和3年度実績】

総合相談件数 延 3,428件 ケアプラン作成件数 延 1,064件
 契約者数 延 128名

4. 通所介護事業所

昨年度に引き続き、新型コロナ対策を徹底して行い、事業所から感染者を出さない、感染を広げないことを意識して事業を行いました。独居高齢者の利用中の緊急事態等で苦慮するケースが出てきており、近隣に家族や親族がいない高齢者が町内で増加していることがうかがわれ、今後の町の地域課題となって来ることが予想されます。

来年度は、町が契約したりハビリ専門職（理学療法士）の助言・指導の下、利用者の介護予防やリハビリに力を入れていきたいと考えています。

【令和3年度実績】 開所日数 258日 登録利用者数 61名
 延利用者数 5,861名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援2							9	8	7	8	8	17
要介護1	134	133	151	151	121	124	114	106	98	88	102	93
要介護2	188	189	188	197	221	223	221	247	210	208	215	246
要介護3	111	87	89	95	109	89	91	100	78	70	73	77
要介護4	13	23	36	49	42	40	31	33	36	34	34	42
要介護5	36	38	38	39	31	30	39	24	24	12	12	13
合計	482	470	502	531	524	506	505	528	453	428	444	488

5. 訪問介護事業所・居宅介護事業所

昨年度に引き続き、新型コロナ対策を徹底して行い、利用者のニーズに応じた支援を

行いました。年々、介護度の低い方への身体介護の提供が増えてきており、認知症を罹患した独居高齢者が多くなってきていると感じられ、町の地域課題となってくると考えられます。

来年度は、定期的な研修による職員の資質向上と、虐待防止に向けた勉強会等を行い、よりよいサービスの提供に努めていきたいと考えています。

【令和3年度実績】

介護度	利用者数	生活援助中心	身体介護中心	合計
事業対象者	4名	140回	13回	153回
要支援1	2名	33回		33回
要支援2	3名	113回		113回
要介護1	10名	232回	183回	415回
要介護2	12名	430回	82回	512回
要介護3	8名	106回	122回	228回
要介護4	4名	5回	76回	81回
要介護5	1名	20回		20回
障がい者	2名	179回		179回
合計	46名	1,258回	476回	1,734回

6. 介護予防事業所

昨年度に引き続き、新型コロナ対策を徹底して行い、事業所から感染者を出さない、感染を広げないことを意識して事業を行いました。町が契約したリハビリ専門職（理学療法士）助言・指導の下、リハビリマシンやゴムボール等を用い、利用者の介護予防に努めました。利用者の中には自宅で転倒する方が多くいるため、自宅でできる運動メニューの開発が必要となっています。

来年度は、作業療法士の資格を持った職員が入職することから、事業の中で行うメニューの改良や自宅でできるメニューの開発等に取り組んでいく予定です。

【令和3年度実績】 開催回数 延 422回 登録者数 109名
利用者数 延 4,241名

7. 生活支援相談室（生活支援相談員配置事業）

今年度は、町内の訪問活動や地域交流サロンの運営に加え、いわき市内にある復興公営住宅や生活再建された方々への訪問も行いました。いわき市に居住されている方々は、地域のコミュニティに馴染んでいない方が多く、孤立感を抱えている方が多く存在するため、一世帯ごとの訪問時間が多く掛かるが、丁寧な訪問を心掛けました。

来年度は、今年度と同様の活動を行い、孤立感を抱える方々の不安や悩みを相談してもらえるような訪問活動を行っていきます。

【令和3年度実績】 訪問回数 延 12,826回
サロン開催回数 延 127回 参加者数 延 1,235名

8. 檜葉町児童館

檜葉町から児童館運営事業を受託し、放課後に保護者のいない児童を預かり、保護者の就労環境の整備と児童の健全育成に努めました。障がい児や障がいを持っていると思われる児童の預かりも行っているため、その対応に苦慮したこともあり、学校等と情報共有会議も行い、適切な支援に努めました。

来年度は、児童館事業から放課後児童健全育成事業に切り替わるため、おやつの提供、利用料金の徴収等が発生しますが、保護者が安心して就労できる環境づくりに取り組むとともに、児童の健全育成に向けて地域の方々と協力しながら事業を行っていきます。

【令和3年度実績】 開催日数 延 237日 利用児童数 延 5,089名